

活動分野	緑のおもしろ講座		
タイトル	樹のドクターに挑戦		
実施日時	平成28年12月4日(日) 10時 ~ 14時		
実施場所	千葉市都市緑化植物園		
受講者	11名	FIC会員他スタッフ	6名

活動の内容

都市緑化植物園で「みどりの面白講座」を12月にしては暖かい日に、午前中座学午後から野外で実施しました。テーマは「樹のドクターに挑戦」で少し難しい話ですが公園、街角で、自宅の庭で見る樹木の色々な表情を見つけて考えると言う講座です。

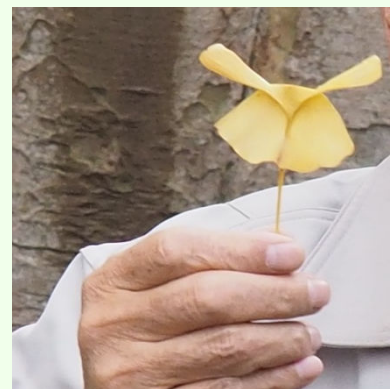
本論に入る前に、話の導入部分としてマツの木はおめでたい木で公の場所に植栽される事が多いので木辺に公(松)と書く事を説明しました。

午前中の座学では樹木の根の役割には大きく分けて支持根、貯蔵根、吸収根と3つ有りその中で養水分を吸収する吸収根(白根)が最も重要で、地表面近くで発達しています。そのために根を痛める事が多いので注意するように説明しました。

又剪定の誤りが樹木の腐朽に繋がる事、公園等で幹に大きな空洞が見られるのはその結果である事を話しました。



それを防止するためには、枝を切る時は枝の途中で切らずに、枝の分かれ目で適切な剪定方法で切る事を説明しました。又病気、虫、樹勢が弱る等で樹木の葉が枯れる、小さくなる、キノコが出る、木クズが出る等の変化が現れるので、その変化を見て対応する方法を説明しました。



午後からは、樹木の名前の覚え方、名前の由来、孟宗竹と真竹の見分け方、枝の出かた他樹木を見ながら学びました。

大きな切り傷が残る枝、樹勢の弱っている樹木を見て午前中ずんだ、樹木の色々な表情と合わせながら、原因を探しました。

マテバシイ、ウバメガシ、シラカシ、スダジイ等ブナ科の殻斗の違い、ミズキとクマノミズキの葉序の違い、クスノキ科の葉の香りの特徴などを学びました。

植物の遊びではイチヨウの葉でピカチュウらしきものを作って、タラヨウの葉に字を書いて簡単な遊びをして楽しみました。

今回「みどりの面白講座」を担当して、何が面白いのか迷いました。とりあえず自分が面白いと思っているテーマを、聴講者に話しましたが、満足して頂けたが心配です。

